（法第 28 条、第 29 条関係様式）

令和５年度事業報告

（自令和５年４月１日　至令和６年３月 31 日）

令和６年７月 24 日

特定非営利活動法人 どんぐりネットワーク
所在地　高松市元山町 861 番地 12 号
電話番号（087）840－4072

１　事業の成果

事業全体における概況

ＮＰＯ法人となり 24 年目を迎えた令和５年度は、「指定管理事業」、「指定管理自主事業」、「どんぐりネットワーク事業」の３事業に取り組んだ。

「指定管理事業」では、「県民参加の森づくり拠点・フィールドの維持管理活動」として、県立森林公園ドングリランドの指定管理（４期３年目（通算 18 年目））を軸に、森づくり活動支援を行った。

「指定管理自主事業」では、里山林整備活動、環境教育活動を行った。

「どんぐりネットワーク事業」では、組織強化プロジェクト、人材育成活動、環境教育活動、里山調査研究活動、交流活動に取り組んだ。

５月に新型コロナウイルス感染症が５類に移行いたことにより、これまでの活動制限が徐々に緩和される中で、既存の活動を再開しつつ、ナラ枯れや竹林拡大など、里山が抱える問題の解決に向けた活動にも積極的に取り組む年となった。

２　事業の実施に関する事項

事業を①指定管理事業、②指定管理自主事業、③どんぐりネットワーク事業の 3 事業に分け、以下の活動を行った。

【事業体系】　付帯資料①－１　事業体系（令和５年度）を参照（44～45 ページ）

【事業実施体制】

区分	種別		人数	備考
職員	企画運営管理担当職員			
	センター長	常勤	1 名	土手
	企画運営管理（イベント系）	非常勤	2 名	伊坂・湊
	企画運営管理（整備系）	非常勤	1 名	明石
	事務担当職員			
	企画運営管理兼務職員	常勤	1 名	河合
	事務担当職員	非常勤	1 名	近藤
どんぐりサポーター	イベントスタッフ		33 名	※登録人数
	整備系ボランティア		12 名	

※どんぐりサポーターとは、ドングリランドでの森林整備やどんぐりネットワークが実施する各種イベント運営にご協力くださる登録制スタッフをいう。

（１）特定非営利活動に関する事項

１）指定管理事業

香川県立森林公園ドングリランドの維持管理においては、利用者が安全かつ快適に利用できるよう留意しながら、枯死木・危険木の除去、遊歩道整備、案内看板の更新および追加など園内の維持管理を行った。

令和４年８月に園内で発生したナラ枯れを受け、巡視を強化するとともに、７月から９月にかけて計 84 本のナラ枯れ枯死木をリストアップし、遊歩道脇など危険度の高い物を中心に計 47 本の枯死木を伐採した（県直営）。

木橋の老朽化により、園内６カ所中５カ所の橋を通行止めにせざるを得ない状況となったが、会員ボランティアの協力により架け替えを完了し、全ての遊歩道を通行再開させることが出来た。

６月にはビジターセンター横法面から中谷林道（高松市道）への大規模な土砂崩れが発生。その後も、７月から８月にかけて計４回の土砂崩れと、その周辺２ヶ所の新たな中規模土砂崩れが発生し、県や高松市と連携しながら土砂の撤去や注意看板の設置等対応を行った。また、令和６年３月には、中谷林道脇林内のナラ枯れ伐採エリアからも新規に土砂崩れが発生。直ちに県および高松市への報告を行うと共に、土砂および樹木の撤去作業を行なった。

令和４年５月にビジターセンター周辺草地に侵入を確認した南米原産の外来植物である「メリケントキンソウ」の駆除作業を引き続き進めたが、継続的に除草作業が必要な状況であり根絶には至らなかった。

①森林公園指定管理活動

事業名		実施内容及び効果	参加人数／スタッフ数（延べ人数）	実施時期（回数）	担当
森林公園管理活動	園内維持管理	ドングリランド指定管理仕様書に則り、園内巡視、清掃、草刈等の維持管理を行った。 広範囲に及ぶナラ枯れの発生を受け、利用者の安全確保のため、頻回の巡視による園内危険木及び枯死木の早期発見と除去に努めるとともに草丈の管理も行った。 **巡視**：遊歩道123回、管理道78回、森林51回、中谷林道62回、DVC周辺は休館日以外毎日実施 **草刈**：DVC及びその周辺43回等　計134回実施 **清掃**：DVC周辺は休館日以外毎日実施 遊歩道43回、側溝15回、管理道7回、森林20回他計527回実施 **枯死木危険木対応**：利用者の安全に配慮し遊歩道周辺を中心に枯死木や危険木の伐採を44回実施 **看板**：案内看板29枚、注意喚起看板5枚を更新または新規設置 **遊歩道**：土留め設置１１回、階段の補修や新規設置36段 **外来種対応**：南米原産の「メリケントキンソウ」の継続的な駆除作業と監視を実施 **ナラ枯れ対応**：ナラ枯れの継続的な監視を実施。枯死木と潜入生存木のマーキングおよび位置情報のマップを作成し随時更新 **補修**：園内木橋を5か所架け替え、奥戸さん屋根、ベンチなどの補修を13回実施 **通行止め対応**：危険木および橋の老朽化対応のため通行止め処理を14回実施	職員198名／ボランティア85名（アウルス・リリーズ等のイベント参加者を除く）	通年	土手

事業名		実施内容及び効果　※１ （実施場所※ドングリランド以外で実施した場合に記載）	参加人数／ スタッフ数 （延べ人数）	実施 時期 （回数）	担当
森林公園管理活動（つづき）	ビジターセンターの開館	ドングリランド管理規程に則り、毎週火曜日と年末年始（12月29日から1月3日）を休館日とし、ゴールデンウイーク(4月29日から5月5日)と夏休み期間(7月20日から8月31日)は休館日なしで開館。また、かかり木対応（5月）や土砂崩れ対応(7月)などの緊急性の高い維持管理や、遠足利用（9月10月）などの休館日利用の希望に対し10回追加開館を行った。	（－）	年間 323日	土手
	管理 強化	施設利用者の安心安全な利用を最優先事項として、特に枯死木、危険枝の早期発見と除去に注力した。また危険確認され次第、通行止めを行い、可能な限り問題の早期解消に努めた。ナラ枯れ枯死木からの落ち枝に対し監視を強化し、早期伐採に向け県への情報提供と伐採木の調整を行った。	上記参照	通年	土手
	運営会議	施設維持管理状況、イベント開催状況と利用者数の推移、次月の予定等の情報共有、施設の維持管理やイベント運営に於ける問題点等の改善に向けた検討などを実施した。	職員65名	毎月1回 （12回）	土手
	活用推進 会議	維持管理上の課題、管理の方向性等について、香川県森林・林業政策課とDL職員間で情報共有と意見交換を実施した。	職員５名 県２名	2月 （1回）	土手

②広報活動

事業名		実施内容及び効果　※１ （実施場所※ドングリランド以外で実施した場合に記載）	参加人数／ スタッフ数 （延べ人数）	実施 時期 （回数）	担当
広報活動	広報大作戦	HP：参加者募集やイベント報告等87回投稿 Facebook：116回投稿（フォロワー数496名） インターネット情報サイト利用 RNCラジオ：毎月第三金曜「どんぐりころころ里山だより」（12回） テレビ：7月21日　ケーブルメディア四国（ドングリランド紹介映像撮影） イベント情報誌の発行（3か月毎　計4回発行）　発行部数230部	（－）	通年	伊坂 河合 土手
		ボランティア広報 　ボランティア新規獲得のため、香川短期大学、香川大学向けにチラシを作成（イベントボランティア、どんぐり銀行ボランティア）			伊坂

②森づくり活動の支援

事業名		実施内容及び効果　※１ （実施場所※ドングリランド以外で実施した場合に記載）	参加人数／ スタッフ数 （延べ人数）	実施 時期 （回数）	担当
森づくり支援活動	協働の 森づくり	**（令和5年度新規事業）** 森林整備によるCO_2吸収促進や、地球温暖化対策に資する活動の趣旨に賛同する企業・団体の受入体制整備のため、先行事例等の情報収集や、県との調整を行った。	8名 ／職員3名	5月 3月 （3回）	土手
	活動団体支援	森づくり活動を行おうとする各種団体（一般団体・教育団体など）に対し、機材の貸し出しや、森づくりに必要な知識や技術指導等を通して活動を支援した。 草刈機、つるはし、一本梯子、安全帯、木槌、高速ドリル、馬板、丸ノコ、書籍等の貸出を行った。 動力機械のメンテナンス相談など随時対応した。	貸出回数16回	通年	土手

２）指定管理自主事業

里山としての履歴を色濃く残すドングリランドのフィールドを活用し、里山の自然や森林に楽しく触れながら、森林の働きや私たちの暮らしとの繋がり、今、里山が抱える諸問題などについても知ってもらえるよう意識しながら、様々な切り口でイベントの企画運営を行った。

特に、「植えて、育て、伐って、使う」という里山の資源循環を意識し、ドングリランド産のどんぐりを使った苗木作りや、落ち葉を使った腐葉土作り、整備で伐採した竹を使った炭作り、自ら園内で拾った柴を使った焚火や薪を使ったイベンなどの企画運営に取り組んだ。

人が手を入れる事で保たれて来た里山をより身近に感じながら、里山整備に必要な知識・技術の習得や里山の生態についても知ってもらえるような講座の開設を行い、森林整備や、里山環境保全活動に関わる人材の育成にも取り組みました。

①里山林整備活動

事業名		実施内容及び効果	参加人数／ スタッフ数 （延べ人数）	実施 時期 （回数）	担当
里山整備体験提供活動	森づくり体験	**ドングリランドの森づくり** 親子で気軽に森林整備に参加出来る場として開催。主に竹林拡大問題の解消や竹林利用の促進を意識した竹林整備や、里山資源の循環利用を意識した植樹や下草刈り、森林整備に取り組んだ。 ４月北竹林(タケノコ掘り）、５月北竹林（植樹）、 ６月中竹林（整備）、７月北竹林（下草刈り）、 ８月休み、９月シイタケ榾木本伏、10月竹ポット苗木作り、 11月・12月休み、１月山の神さん参拝、 ２月シイタケ榾木作り、３月北竹林（大人限定竹伐採）	136名 ／スタッフ33名 ／職員12名	不定期 月1回 （9回）	伊坂

①里山林整備活動（つづき）

事業名		実施内容及び効果	参加人数／スタッフ数（延べ人数）	実施時期（回数）	担当
里山整備体験提供活動	里山再生（令和5年度新規事業）	**大地の再生実践コース** 人と自然が交流できるような森林を蘇らせるとともに、県下各所で自ら里山整備を実践できる人材の育成を目的とし、風や水の流れを意識した森林整備と、整備に必要な道具の手入れ方法などを体験学習する通年型プログラムを実施した。 ４月：大地の再生についての概論（座学） ビジターセンター前→子ども広場→奥歩道を歩きながら状態観察 ①風の草刈り ②点穴 ③水脈づくり等一通り実践を交えて説明 ５月：桜の園・子ども広場の風の草刈り・水脈作り・点穴作業 トンボ池上流沢の枯れ木を除伐とトンボ池の水脈作り ６月：継続作業 ７月：継続作業と風の剪定 炭焼き小屋前広場の水はけ改善のため斜面転換点とその広場横の水脈づくり ８月：継続作業、栗の木の下の整備（ベンチ撤去、点穴） ９月：継続作業、桜の園の桜の伐採木の取り出し 10月：桜の園と上がり道の際沿いに点穴作業 コブシ坂を上がりながら地形の観察、続けてつぶらじいの広場から中ノ沢ダムへ沢沿いのゴミを拾いながら観察 11月：継続作業 12月：子ども広場木の剪定、周辺を歩きながら木の剪定方法 整備の仕方の説明と実践、白テントの下の斜面の整備 1月：子ども広場の落ち葉掻き→カブトムシのベッド作成4か所 水切りの掘り起こし 2月：伐採木で杭（午後使用）を作成・子どもの広場、中谷林道添い、ビジターセンター侵入口、沢の周辺、ビジターセンター周辺の斜面変換点の点穴作業 土砂崩れ後の斜面に杭をうち枝・葉つきの枝・落葉を重ねていくことで、草や木の種がとどまり根を張ることができる棚を作成（粗朶柵）、 ビジターセンター1階に溝を掘る 3月：大地の再生の考え方を生活の中に取り入れ実践している庭や畑・家屋の見学 ※毎回、前回までの作業振り返りと変化の観察	171名 ／スタッフ5名 ／職員17名	毎月1回 （12回）	湊

事業名		実施内容及び効果	参加人数／スタッフ数（延べ人数）	実施時期（回数）	担当
里山林整備体験活動	維持管理活動	**ドングリアウルスの森林整備** 森林整備ボランティアの協力による森林整備活動を通して、森林整備に関する知識・技術を体得することを目的として、竹の除伐・間伐・枯死木の伐倒、歩道整備などを実施した。 ４月：水切・竹林整備 ５月：牛小屋草刈・中竹林整備 ６月：奥歩道・エノキ谷土留 ７月：草刈り・土砂崩れ対応、倒木処理 ８月：土砂除去、木漏日の棚地整備 ９月：植田小学校竹伐採、桜の園机除去 10月：草刈り、南竹林竹伐採、ベンチ更新 11月：ホオノキ谷橋補修、ベンチ更新、ダム補修 12月ヒノキ谷仮設橋設置、北竹林竹伐採 １月：草刈り、遊歩道整備 ２月：奥歩道土留め、DVCナラガシワ伐採 ３月：奥歩道階段補修、北竹林枯竹伐採	202名 ／職員64名	毎週 木曜日 （48回）	伊坂 明石
		どんぐりリリーズの草花管理 ボランティアの協力により、ドングリランドの自然を知ることのできる場所として「香りの径」の草花や樹木の手入れや維持管理を行なった。また、育てる知識と技術の習得を目的に、里山の自然を知り、育てる知識と技術の習得につながった。 香りの径植物維持管理、除草、施肥、支柱整理、土壌改良、 フジバカマ花壇除草など	54名	毎月 第1木曜 （12回）	土手
		トレランコース整備（令和5年度新規事業） 山の手入れの重要性を体感し、参加者にドングリランドを知ってもらうため、讃岐ベアフットトレイルランニングのコース（遊歩道外周）を数回に分けて、道具（刃口、スコップ、ノコギリ、ガンジキ等）を使い整備した。	22名 ／職員5名	4～8月 （5回）	明石
		森林維持プログラム「土のうとサウナ」 **（令和５年度新規試行事業）** 森林維持活動「土のう作り」をしたのち、焚火による昼食とテントサウナ体験という、整備とイベント融合型プログラムを実施した。参加費（大人4千円、子ども2千円）。テントサウナ体験は、サウナーにとっては安いが、一般の方には高い。充実したプログラムを少人数で楽しんでもらうのに適している。	10名 ／職員1名	2月 （1回）	伊坂

②環境教育活動

※１県森林林業政策課「みどりの学校」受託事業として実施したものは事業名末尾に【みどりの学校】と記載。

事業名		実施内容及び効果　※１ （実施場所※ドングリランド以外で実施した場合に記載）	参加人数／ スタッフ数 （延べ人数）	実施 時期 （回数）	担当
どんぐり銀行普及啓発活動	どんぐり銀行 窓口運営	**どんぐり銀行ドングリランド支店の運営** どんぐり預金を通して自然に触れ、学び、自然環境保全へと繋げる事を目的として「どんぐり銀行」活動の普及啓発活動を実施。 預金受付件数：705件（新規191件既存514件） 預入総数：245,461個 DBポイント券払戻し：48名（95枚）	1842名 ／スタッフ22名	4月1日 ～ 12月1日	土手
		どんぐり銀行オープン行事 ※ネットワーク事業【みどりの学校】に掲載	（－）	（－）	（－）
どんぐり学校活動（環境教育）	里山自然 観察体験	**季節の森さんぽ** 自然に触れてみたいけれど触れ方が良く分からない方をメインターゲットとし、「森の中でのんびりと過ごす」をキーワードに園内の散策や季節に応じたプログラムを提供した。 秋の七草観察会：秋の七草を探しながら秋の森さんぽを楽しんだ ほっこり森さんぽ※【みどりの学校】に掲載	※秋の七草観察会のみ 16名 ／職員2名	9月 （1回）	土手 伊坂
		むしむし探検隊 主に学童期の児童を対象に、“命”の繋がりや多様性を感じ、その大切さを学ぶことを目的として、昆虫採集と標本作り実施した。	34名 ／講師1名 ／スタッフ2名 ／職員2名	8月 （2回 1講座）	河合
	里山文化体験	**森の季楽教室** 里山の四季折々の自然の風物詩をテーマに、里山の生活文化を体験し、里山を維持管理することの意義を学ぶ場として、イベントを実施した。 採って食べよう穂先タケノコ※【みどりの学校】に掲載 ホタル見会（ホタルの発光確認数が極めて少ないため中止） 門松づくり：迎春準備の一つとして門松作りのワークショップを実施 七草粥※【みどりの学校】に掲載	※門松づくりのみ 22名 ／スタッフ6名 ／職員2名	（6月） 12月 （1回）	土手 伊坂
		ドングリランド年末大掃除 一年間の感謝を込めて、天井のすす払い、窓掃除、床掃除などビジターセンターの大掃除を行った。	6名 ／スタッフ1名 ／職員5名	12月 （1回）	土手
	里山の 魅力発見	**森であれこれワークショップ** 森の中で作ったり食べたりを楽しみながら一日過ごす事で、里山の自然に触れ、その魅力を知る場として開催する。 飲食体験ブース11店、工作体験ブース4店、遊び体験ブース2店、焚火体験1店　など合計18店 ネットワークからは4ブース出店 （苔テラリウム体験、竹箸づくり体験、竹パン作り体験、どんぐりカー工作）　参加人数100名	318名 ／スタッフ6名 ／職員5名	12月 （1回）	湊 明石

事業名		実施内容及び効果　※１ （実施場所※ドングリランド以外で実施した場合に記載）	参加人数／ スタッフ数 （延べ人数）	実施 時期 （回数）	担当
どんぐり学校活動（環境教育）（つづき）	里山の 魅力発見	**讃岐ベアフットトレイル大会（令和5年度新規追加事業）** 土の上で裸足になることの良さを体感してもらうことでドングリランドの魅力を参加者に知ってもらうため、ドングリランド遊歩道を活用し①外周５キロ、②２周11キロ、③親子の部１キロのコースを設定して実施した。	60名 ／職員5名	9月 （1回）	明石
		トレイルキャンプ（令和5年度新規追加事業） トレイルランニングに最適なドングリランドの無舗装の遊歩道を活用し、長距離走の大会出場に向けた練習の場や、選手同士の交流、情報交換を行う事を目的として、１泊２日で実施した。	13名 ／職員1名	12月 （1回）	明石
		森の焚火あそび 県産の針葉樹や広葉樹の薪を使い、焚火を楽しみながら、森林の状況や、里山資源としての木材利用について学ぶワークショップを実施した。	18名 ／講師1名 ／職員２名	1月 （1回）	土手
		焚火お楽しみパック（令和5年度新規追加事業） 焚火（薪の利用）を通して木の循環利用の意識醸成と、園内施設の利用率向上を目指し、イベントの無い土日祝におくどさん及び調理器具の貸出を実施した。	12名 ／職員3名	12月～ （3回）	伊坂
	環境美化	**ドングリランドのクリーン作戦（第24回）** 園内側溝に堆積した土や落ち葉を森へと還し水の流れを良くする作業を行った。 また、不法投棄問題を意識した園内のゴミ除去活動を行った。	22名 ／職員2名 ／スタッフ2名	4月第1 日曜日 （1回）	土手
	ドングリ ランド 自然体験	**遠足／校外学習など受入れ** 幼小学校等の校外学習や、企業、団体の要望に応えたオリジナルプログラムを提供し、自然に触れる中で、森林の働きや生物多様性への理解を深めて頂く機会を提供した。 校外学習：幼稚園2校、小学校9校　計12回771名 （森あるきとドングリカー作り）	771名 ／スタッフ56名 ／職員15名	通年	土手
		県内外の11団体に対し、フィールドの提供を通し活動支援を行った。 保育系2団体/5回、学童系3団体/3回、民間３団体/3回、企業２団体/2回、行政1機関/1回	524名 ／職員14名	通年 （14回）	土手
		ドングリランドのクラフト工作 ビジターセンターを訪れた人に楽しんでもらえる竹木やどんぐりを活用したクラフトキットを販売した。 （ドングリカー23個、フォトスタンド16個、 キーホルダー11個、万華鏡12個）	（－）	通年	伊坂
		野外で算数遊び（令和5年度単発追加事業） 身体と五感を使いながら、知識としての算数と、自然素材を使った野外遊びを上手く組み合わせ、子どもたちの「学び」を深めるプログラムを実施した。	15名 ／講師1名 ／スタッフ2名 ／職員2名	7月 （1回）	土手

②環境教育活動（つづき）

事業名		実施内容及び効果　※１ （実施場所※ドングリランド以外で実施した場合に記載）	参加人数／ スタッフ数 （延べ人数）	実施 時期 （回数）	担当
どんぐり学校活動（つづき）	企業利用支援	**CSR、SDGｓ等を目的とした企業受入** 企業による、CSRやSDGｓ等を目的とした森林維持の取り組みに対し、プログラムや場の提供、技術指導、機材の貸与を行う。 ※令和5年度実績なし	（－）	通年	土手
	野外育児体験	**森の親子広場** 自然体験が少なくなっている親世代に、自然の中で子育てを楽しめるような場を提供した。（森のようちえんお山歩隊との協働事業）	1056名 ／職員44名	毎週水曜 （44回）	湊
	森林整備技術習得講座	**森のあれこれ塾** 里山を守り育てる人材を育てることを目的として、主に森林整備に興味のある初心者を対象として、整備の基本や必要な機材の取り扱い方、安全に作業を進める為の方法など実践的技術を体験する講座を開講した。（※ネットワーク事業【みどりの学校】に掲載）	（－）	（－）	（－）

３）どんぐりネットワーク事業

里山や森林の理解を深める活動として、県内各所において、各種講座を実施した。

県内各所にどんぐり銀行臨時支店を開設し、どんぐり銀行の普及啓発および利用促進にも努めた。

高知県大川村での水源の森づくり、早明浦交流プロジェクト「交流の森づくり」ツアー（香川県・公益財団法人　かがわ水と緑の財団との協働事業）を３年ぶりに再開する事が出来た。

香川大学創造工学部と連携し、ナラ枯れ調査へのフィールド提供や調査協力を行うと共に、引き続き里山モニタリング調査（環境省）にも取り組んだ。

①組織強化プロジェクト

事業名		実施内容及び効果	参加人数／ スタッフ数 （延べ人数）	実施 時期 （回数）	担当
組織力向上活動	組織基盤整備	持続可能なNPO活動とその質向上の為、外部中間支援組織等の指導やカウンセリングを受け組織基盤を強固なものとするための活動を行った。 ・組織運営の各種研修 ・外部専門家によるコンサルティング （県の支援事業等を活用）	1名 ／職員1名	2月	全職員
	ガバナンス強化	運営戦略や事業計画の策定や実践、経営管理や法令順守の仕組み整備と確実な運用およびリスクの洗い出しや管理を行うため、各種規程、規則、要領等の検証と見直しを行った。 ・就業規則、賃金規定等の改定のための情報収集及び検討 ・業務の電子化のための情報収集など	職員2名	通年	全職員

事業名		実施内容及び効果	参加人数／スタッフ数（延べ人数）	実施時期（回数）	担当
組織力向上活動	木村等どじょう基金準備委員会	安定的財源確保手段の確立を目指し「木村どじょう基金」を会の寄付金窓口として育成・維持するための準備として、会報広告掲載企業の募集活動を行と共に、企業団体との関係構築を図る。将来的には会員カテゴリー枠の整備や広告以外の企業活動受入窓口と連携、当会の実施する事業の原資として活用することも目指し、情報収集等準備を行った。 ・広告カテゴリーの整理 ・オンラインによる募集体制の検討、整備 （オンライン申込みフォーム，契約者向け契約状況表示・更新手続ページのHPへの追加，チャット・音声対応によるオンラインリアルタイム受付の導入など）	職員3名	1回	小林 河合
組織運営維持管理活動	総会	事業展開に会員の積極的参画を図り、目的達成のための活動を推進するための場として開催した。	7名 ／職員2名	5月 （1回）	河合
	理事会	会の円滑な業務執行の為、執行状況の把握と必要事項を審議決定する為に開催した。【年4回を予定】	各回理事4名 ／職員1名	4月 2月 （3回）	河合
	連絡会	会員からの多様な意見を聴取する場として、またNPO法人として社会的責任を果たしつつ、より魅力的な活動を行うために活動の整理や分析、再評価を行った。 ・当会の事業見直し、新規提案の検討 ・令和7年度までの活動目標・計画の策定【毎月1回】	各回理事2名 ／職員1名	6月 7月 （2回）	河合

②人材育成活動

事業名		実施内容及び効果	参加人数／スタッフ数（延べ人数）	実施時期（回数）	担当
次世代育成活動	会員育成	会員募集活動や会員および役職員のスキルアップのため、研修会への参加コーディネートや研修会の企画運営を行い会員サービスの向上にも取り組んだ。 どんぐり銀行スタッフ講習会	３名 ／職員2名	9月17日 （1回）	河合 伊坂
	森人育成	森林整備ボランティアリーダーの育成のため、広葉樹伐倒技術の習得と向上を目指し、職員ボランティアを対象にロープウインチを使った木材搬出法の実習を行った。	3名 ／講師2名 ／職員4名	5月 2月 （2回）	土手
	インターンシップ	NPO活動体験の場としてインターンの受け入れを行ない、NPO活動への理解や将来の会員や支援者育成に努めた。特に県下大学生を対象とした短期インターンシップに注力しNPO活動や森林公園管理の体験の場を設けた。 香川大学農学部学生1名を受け入れ	5名 ／職員7名	8月19日 ～ 9月2日 （5回）	河合
	会員活動支援	会員からの提案や意見から、会員協力のもと実施出来る事業等を検討、試行した。 ・CO2削減の取組促進の提案から、高松市地球温暖化対策実行計画推進協議会委員への会員の推薦 ※（８）外部会議への出席及び（９）各種外部委員等へ記載 ・園内枯死木等の伐採で出る薪の有効活用方法の提案から、焚火お楽しみパックの実施 ※自主事業「どんぐり学校活動／里山の魅力発見／焚火お楽しみパック」に記載	（ー）	（－）	全職員

③環境教育活動

事業名		実施内容及び効果 （実施場所※ドングリランド以外で実施した場合に記載）	参加人数／スタッフ数（延べ人数）	実施時期（回数）	担当
どんぐり学校活動（環境教育）	各種イベント運営	**みどりの学校講座の運営　全17講座**			
		「どんぐり銀行オープン行事」 どんぐり銀行のオープンを記念するイベントを実施した。	15名 ／スタッフ1名 ／職員1名	10月 （1回）	土手
		「生き物図鑑作り」 園内で植物や昆虫、爬虫類などの生き物を観察し、図鑑で調べてオリジナルの図鑑を作成した。	12名 ／スタッフ2名 ／職員1名	8月 （1回）	土手
		「きのこ観察会」 森の中を歩きながら、キノコの見つけ方、見分け方などを学んだ後で、図鑑等を活用し種の同定を行った。	19名 ／スタッフ4名 ／職員1名	9月 （1回）	土手
		「野外で算数学習講座」 身体と五感を使いながら、知識としての算数と、自然素材を使った野外遊びを上手く組み合わせ、子どもたちの「学び」を深める「野外で算数」のプログラム実践者を育成する講座を開講した。	9名 ／講師１名 ／職員2名	6月 （1回）	土手
		「採って食べよう穂先タケノコ」 竹林拡大防止対策としてのタケノコの利用促進のため、穂先タケノコの塩漬け方法を体験した。	13名 ／スタッフ5名 ／職員2名	5月 （1回）	土手
		「七草観察会」 春の七草探しと観察を実施。採取した七草を使った七草粥の食体験も実施した。	20名 ／スタッフ3名 ／職員2名	1月 （1回）	土手
		「ほっこり森さんぽ」 森さんぽで燃やせるものを探し、七輪で燃やして思い思いの食材を炙りながら火を楽しんだ。	6名 職員2名	2月 （1回）	土手 伊坂
		「森と水のつながり学習講座」 森と水の関係、豊かな森の役割ついて学び、ライシメーター実験装置や森の中で実際に観察、ペットボトルを使った浸透性実験装置の作成も行った。	12名 ／講師1名 ／スタッフ1名 ／職員1名	7月 （1回）	土手
		「香川の森林を知ろう」（令和5年度単発講座） 香川県の里山林の変遷や里山が抱える諸問題などについて学び、ナラ枯れ発生エリアでのフィールドワークも実施した	19名 ／講師1名 ／職員1名	1月 （1回）	土手
		「救急法講習会」 日本赤十字社香川支部かあら講師を招聘し、野外活動時の事故やケガ発生時の応急処置や患者搬送、心肺蘇生法やＡＥＤの使用法について講習を実施した。	12名 ／講師3名	6月 （1回）	土手 明石
		「刈払機体験講座」 森林整備活動に必要な刈払機の安全な使用方法・メンテナンスの方法を体験するための講座を実施した。	12名 ／講師１名 ／スタッフ2名	7月 （1回）	
		「チェーンソー体験講座」 森林整備活動に必要なチェーンソーの基本的かつ安全な使用方法及びメンテナンスの方法を体験するための講座を実施した。	８名 ／講師1名 ／職員2名	3月 （1回）	
		「ロープウインチを使った木材搬出法体験学習会」 森林整備活動に必要なけん引道具（ロープウインチ）を使用した木材の搬出作業や手技の見学講座を実施した。	13名 ／講師1名 ／スタッフ3名 ／職員2名	4月 （1回）	

事業名		実施内容及び効果 （実施場所※ドングリランド以外で実施した場合に記載）	参加人数／スタッフ数（延べ人数）	実施時期（回数）	担当
どんぐり学校活動（環境教育）（つづき）	各種イベント運営	「ミニかんなを使った広葉樹の箸づくり」 木材利用促進のため、県内産のどんぐりや広葉樹を、それぞれの感触や色、木目などに違いを観察した後に、好みの材をカンナで削り、焼き鏝で名前やイラストを描いて箸に仕上げた。	24名 ／講師2名 ／職員2名	7月 （1回）	土手 伊坂
		「森の万華鏡づくり」 竹林整備で伐採した竹を使って万華鏡を作り、いつもと違う「森の景色」を楽しんだ。	8名 ／職員2名	8月 （1回）	
		「世界に一つだけの木の時計を作ってみよう！」 木材利用促進のため、ドングリランド産のクヌギを製材加工した材を基盤に、森の散策で拾った材料を張り付けながら、世界で1つだけの時計に仕上げた	26名 ／講師2名 ／職員2名	3月 （1回）	
		「動物のフィールドサインをさがそう」 園内を散策しながら、動物の糞、足跡、食べかすを探し観察することを通して、森にすむ生物を学ぶ講座を実施した。	14名 ／スタッフ4名 ／職員1名	2月 （1回）	河合
	講師派遣（どんぐり出張）	**県体験型環境学習出前講座（県森林・林業政策課委託事業）** 森の働きや水との繋がり、人との関係について、座学やライシメーター実験、ペットボトルを使った浸透性実験装置の作成指導を行った。　（県下小学校(4年生)2校）	150名 ／スタッフ8名 ／職員3名	10月 3回	河合
		県環境学習会（県環境政策課委託事業） 木とドングリを使ったミニチュアスタンドのワークショップを開催した。（サンメッセ香川）	320名 ／スタッフ3名 ／職員1名	7月 （1回）	伊坂
		高松市環境学習出前講座（高松市環境総務課委託事業） 小学校の校庭にいる生き物を探し、その観察を行った。 （市内小学校3校）	178名 ／スタッフ6名 ／職員3名	10月 11月 （4回）	河合
		まんのう町出前講座 仲南こども園保育教諭に対し、自然に触れるために知っておいて欲しいことや自然に触れるためのヒント等についてフィールドワークを交え講義を実施した。（まんのう町立仲南こども園）	12名 ／職員1名	11月 （1回）	土手
		BESS高松（ドングリカー作り） **番の州公園（令和5年度新規）**（木の葉フロッタージュ）	29名 ／スタッフ２名 ／職員２名	6月 7月 （2回）	河合 伊坂
		その他依頼に基づき環境学習プログラム（森の働きや水との繋がり、人との関係）を提供した。 香川県環境管理課（かがわ里海大学講座／5月） 南部クリーンセンター（水鉄砲とスワッグ作り／7月12月） 香川短期大学（環境学習授業／5月） 栗林公園（環境学習親子教室／7月） 植田小学校（竹林整備と環境学習／9月1月）	256名 ／スタッフ5名 ／職員9名	通年 （7回）	土手 河合 伊坂

③環境教育活動（つづき）

事業名		実施内容及び効果 （実施場所※ドングリランド以外で実施した場合に記載）	参加人数／ スタッフ数 （延べ人数）	実施 時期 （回数）	担当
どんぐり学校活動（環境教育）（つづき）	環境教育プログラム検討	より主体的に森林の多面的機能や生態系サービスを系統的に体験学習できるプログラムを目指し、既存のプログラムの見直しを行った。 ・森と水のつながり体験学習プログラムの見直し	3名 ／職員3名	10月 （3回）	河合 伊坂
	早明浦交流プロジェクト	水源の森ツアー 高知県土佐郡大川村「交流の森」で、自分たちも水源の森を育てる作業を通し、水の大切さ、森の大切さについて体験学習して貰うため、育樹活動(下草刈り)を行った。（香川県森林・林業政策課との協働事業）	19名 ／職員1名 ／スタッフ8名	7月22日 23日 1泊2日	土手
		大川村謝肉祭 水源地交流の一環として、大川村のイベントに竹パン体験（135個）やクラフト販売・体験（38個）のブースを出展した。	176名 ／スタッフ3名 ／職員1名	11月 （1回）	河合
	どんぐり銀行臨時支店開設（県委託事業）	県下各所での出張窓口開設、ドングリ回収 （公園等：13回、商業施設：1回、学校：2回 ／　預入個数：141，395個）	900名 ／スタッフ36名 ／職員17名	10月1日 ～ 12月1日 （16回）	伊坂
	その他 どんぐり銀行の開設	満濃池森林公園	28名 ／スタッフ2名	10月 （1回）	河合 伊坂

④里山調査研究活動

事業名		実施内容及び効果	参加人数／ スタッフ数 （延べ人数）	実施 時期 （回数）	担当
生物多様性調査活動	里山 モニタリング調査	環境省里山モニタリング調査（通称：里モニ）の登録サイトとして、里山の自然環境の変化を記録し次世代に残す活動を実施した。（２期7年目） 植物相：草地、水場、林縁の３つの環境で観察出来た植物の蕾、花、種を全て記録（毎月1回） 哺乳類：トレイルカメラ3台を約2カ月毎に設置し、同定出来た中・大型哺乳類を記録 カエル類：トンボ池に産卵されたアカガエル類の卵塊数を観察 ※令和2年度以降産卵が確認出来ない状況 鳥類：第2期は登録なし	62名 6名 ／職員1名 職員18名 （ー）	4月~3月 （12回） 6月～3月 （7回） 1月～３月 （18回） （ー）	河合
	ナラ枯れ調査	（令和5年度新規事業） 香川県森林・林業政策課と協働でドングリランド内12エリアのナラ枯れ枯死木のナンバーリングと樹高、胸高直径、材積調査を実施。この調査結果を伐採木選定の資料として活用した。またその調査結果を香川大学農学部および創造工学部にも提供した。	９名 ／職員4名	9月 （4回）	土手

④里山調査研究活動（つづき）

事業名		実施内容及び効果　※１	参加人数／スタッフ数（延べ人数）	実施時期（回数）	担当
調査研究普及啓発活動	調査データベース構築	ドングリランドにおけるナラ枯れやモウソウチク現存量・林冠光合成に関する香川大学創造工学部・農学部と連携した調査を補助し，大学内での学部間連携によるデータの蓄積に貢献した。 また、里モニ開始後の7年間の植物・哺乳類・カエルの調査データを蓄積した。	2名	通年（6回）	河合
	調査研究支援	**香川大学研究地の維持管理** 北竹林周辺（竹林拡大調査等）、手入れずの森（ナラ枯れ調査等）、ビオトープ周辺（水温水流調査等）の調査へのフィールド提供と調査エリアの維持管理を実施	職員1名	通年	
		大学等研究機関の受入れ 香川大学農学部(小林先生)：実習3回、演習1回、植生調査2回受入	85名	9･12･1･2月（7回）	
		香川大学創造工学部(小宅先生)：ナラ枯れ調査への情報提供、調整および受入協力	52名	12月～3月（21回）	
		香川大学創造工学部(石塚先生)：水温水流センサーの設置協力	6名	8月（2回）	
	調査員発掘	動物のフィールドサインをさがそう ※【みどりの学校】に掲載	（－）	（－）	（－）

⑤交流活動

事業名		実施内容及び効果	参加人数／スタッフ数（延べ人数）	実施時期（回数）	担当
交流活動	森林づくり活動推進	県民参加の森林づくり連絡会議への参加を通して、森林行政に関わる情報収集を行うと共に、香川県森林・林業政策課および県下の森林環境保全活動団体との情報交換、交流を行い、活動連携を図ると共に森林づくり活動の推進を行う。 ・県民参加の森林づくり連絡会議への参加　　【詳細は別に記載】	職員3名	6月 8月 2月 （3回）	河合
	ネットワーク形成	イベント、シンポジウム、講演会などへの参加を通し、知識・技術の収集や情報交換、交流を行った。また、地域コミュニティや民間団体、企業、教育機関、行政との積極的交流を通し人的・組織的なネットワークを構築し、活動の協働や連携体制を形成するための活動を行った。 ・高松市環境活動展への出展 ・環境活動団体交流会への参加 ・その他会議等への参加　　【詳細は別に記載】	職員6名	通年	河合

⑤交流活動（つづき）

事業名		実施内容及び効果	参加人数／スタッフ数（延べ人数）	実施時期（回数）	担当
広報促進活動	広報大作戦	HP：参加者募集やイベント報告等55回投稿 Facebook：4回投稿（フォロワー数303名） Twitter： 136回投稿（新規登録、フォロワー数162名）	（－）	通年	河合
		テレビ：6月23日　RNC西日本放送海と日本プロジェクト （里海大学講座の追加取材）	職員1名		土手
	会報誌発行	3か月毎　計4回発行　発行部数230部	職員2名		河合
	営業活動	活動広報や活動場所開拓のため、各所営業活動を行った。 どんぐり銀行臨時支店各所（公園等10カ所）、クラフトワークショップ（BESS高松、南部クリーンセンター）、ZENキューブ、香川短期大学、三木町観光協会、㈱小山システム、他	職員1名		伊坂

（２）社員総会及び理事会、その他会議の開催状況

１）社員総会（開催日時、出席状況、審議及び議決内容）

令和５年５月 21 日（日）14 時 00 分から 16 時 15 分

ドングリランドビジターセンター学習室・Web 会議ツール（Zoom）併用型にて開催

正会員総数 126 名のうち出席者 62 名（当日出席者６名・Web 出席者１名・委任状提出者 55 名）

①令和４年度事業報告及び活動計算書報告②令和５年度事業計画書(案)及び活動予算書(案)

③任期満了に伴う令和５年度役員体制（案）

について審議し、議案は原案通りにて承認を得ました。

２）理事会（開催日時、出席状況、審議及び議決内容）

①第一回通常理事会

令和５年４月８日（土）13 時 00 分から 16 時 50 分

ドングリランドビジターセンター学習室（オンライン併用）

理事４名中出席者４名（うちオンライン出席者１名）

職員採用について、令和４年度決算見込み、令和５年度事業計画（案）および活動予算（案）、第 24 回総会日程について審議

②第二回通常理事会

令和５年４月 26 日（水）13 時 00 分から 16 時 50 分　ドングリランドビジターセンター学習室

理事４名中出席者４名（うち委任状提出者１名）

第 24 回総会議案書について審議

③第三回通常理事会

令和６年２月 20 日（火）13 時 43 分から 18 時 30 分　香川大学農学部 A502 室

理事４名中出席者４名

メール審議の追認（固定資産および備品の購入について）、令和 5 年度第 3 四半期事業報告および決算見込みについて、副会長の傷害補償について、職員賃金規程の改定について、旅費規程の制定について、総会の日程について審議

④その他会議

１）連絡会

各部提案事項や検討課題について検討を行いました。（６月 28 日、７月５日、計２回開催）

（３）助成金・補助金

実施期間	助成金・補助金名 および助成団体	事業内容	金　額
令和５年４月～２月	（公財）環境保全公社	大地の再生実践コース	150,000 円

（４）寄付金・協賛金

日付	企 業・団 体 名	事業名	金　額
令和５年５月 12 日～ 令和６年３月 13 日	センチュリーホテル	支援寄付金（計７回）	189,481 円
令和５年６月 27 日	BESS フォレストクラブ	支援寄付金	100,000 円
令和５年１２月３日	森であれこれワークショップ 実行委員会※	森であれこれワークショップ	22,260 円
令和５年４月１日～ 令和６年３月３１日	個人４名様より	（ー）	38,500 円
合計		350,241 円（前年比 212%）	

※森であれこれワークショップ実行委員会とは、事業の実施に当たり会員有志で構成された実行委員会をいう。

（５）受託・出張事業

実施期間	依頼元	受託内容	実施場所
令和５年４月１日 ～ 令和６年３月 31 日	香川県 （環境森林部森林･林業政策課）	「県立森林公園指定管理業務」 公園の維持管理と利用促進 （令和３年度～令和８年度５年間）	ドングリランド （高松市）
令和５年７月 26 日 ～ 令和６年１月 31 日	香川県 （環境森林部森林･林業政策課）	「どんぐり銀行臨時支店開設等業務」 預金窓口開設の企画・運営 （全 16 回）	県下各所
令和５年４月 22 日 ～ 令和６年３月 16 日	香川県 （環境森林部森林･林業政策課）	「みどりの学校委託事業」 環境学習イベントの企画・運営 （全 17 回）	ドングリランド （高松市）
令和５年１０月８日	香川県 （環境森林部森林林業政策課）	森とみどりの祭典 （どんぐり銀行出張所開設） （全１回）	満濃池森林公園 （まんのう町）
令和５年７月 30 日	香川県 （環境森林部環境政策課）	「かがわ未来へつなぐ 環境学習会 2023」 （全１回）	サンメッセ香川 （高松市）
令和５年５月 27 日	かがわ里海大学 （環境森林部環境管理課）	「かがわ里海大学講座」 里海大学講座講師派遣 （全１回）	ドングリランド （高松市）
令和５年 10 月 16 日 令和５年 10 月 18 日 令和５年 10 月 25 日	香川県 （環境森林部環境政策課）	「香川県環境学習出前講座」 （全３回）	一宮小 屋島東小 （高松市）

実施期間	依頼元	受託内容	実施場所
令和５年 10 月 28 日 ～ 令和５年 11 月 27 日	高松市 （環境局環境総務課）	「高松市環境学習出前講座」 環境学習プログラム講師派遣 （全４回）	南部クリーンセンター 川添小学校 屋島東小学校 （高松市）
令和５年 11 月 22 日	まんのう町 （農林課）	「まんのう町出前講座」 （全１回）	仲南こども園 （まんのう町）
令和５年５月 22 日	香川短期大学	環境学習出前授業	香川短期大学 （宇多津町）
令和５年７月 23 日	番の州公園指定管理者 （五栄カイリク㈱）	出前授業	番の州公園 （坂出市）
令和５年７月 29 日	栗林公園観光事務所	「夏休み親子教室」 （全１回）	栗林公園 （高松市）
令和５年７月 31 日 令和５年 12 月 27 日	高松市 南部クリーンセンター	「出前講座」 （全２回）	南部クリーンセンター （高松市）
令和５年６月 25 日	BESS フォレストクラブ	クラフト工作等講師派遣	BESS 高松 （高松市）
令和５年９月 27 日	高松市植田小学校	竹林整備への講師派遣 （５・６年生 34 名・２時間半）	ドングリランド （高松市）
令和６年１月 31 日	高松市植田小学校	環境学習授業への講師派遣 （５・６年生 36 名・１時間）	植田小学校 （高松市）

（６）研修・視察などへの参加

実施期間	主催	研修名	実施場所
令和５年７月７日	林業・木材製造業労働災害防止協会香川県支部	伐採等の業務特別教育修了者を対象とした補講	香川県森林組合連合会 （高松市）

（７）シンポジウム・セミナー・交流会等への参加

実施期間	主催	事業名	実施場所
令和５年 10 月 26 日 ～31 日	高松市 （環境局環境総務課）	高松市環境活動展	IDEKO 瓦町 （高松市）
令和５年７月１日	（公財）日本自然保護協会	モニタリングサイト 1000 里地調査 調査講習会・サイト視察会・交流会	八王子市 長池公園 （東京都）

（８）外部会議への出席

実施期間	主催	会議名	実施場所
令和5年4月 25 日	香川県 （環境森林部森林・林業政策課）	第1回県民参加の森づくり連絡会議	香川県庁 （高松市）
令和5年6月1日	香川県 （環境森林部森林・林業政策課）	第2回県民参加の森づくり連絡会議	
令和5年8月 29 日	香川県 （環境森林部森林・林業政策課）	第3回県民参加の森づくり連絡会議	
令和6年2月 21 日	香川県 （環境森林部森林・林業政策課）	第5回県民参加の森づくり連絡会議	
令和5年6月 12 日	香川県 （環境森林部環境政策課）	「かがわ未来へつなぐ環境学習会」 第1回説明会	香川県庁 （高松市）
令和5年7月 13 日		「かがわ未来へつなぐ環境学習会」 第2回説明会	
令和６年２月 19 日	高松市 （ゼロカーボンシティ推進課）	令和５年度第１回高松市地球 温暖化対策実行計画推進協議会	高松市役所 （高松市）
令和６年１月 30 日	高松市 （環境局環境総務課）	令和５年度環境活動団体等交流会	高松市役所 （高松市）
令和6年2月2日	香川県ユニセフ協会	第14回評議員会	社会福祉 総合センター （高松市）

※外部会議出席は、香川森林ボランティアネットワーク（Kagawa Forest Volunteer Network：ＫＦＶＮ）登録団体として、または各種外部委員会の委員として主催者から出席を求められた会議への出席状況を記載しています。

（９）各種外部委員等

委員会名	委任者	委任期間	委員氏名
ユニセフ評議員会	香川県ユニセフ協会	令和5年1月1日～ 令和6年12月31日（2年間）	小林 剛 （理事・会長）
香川県環境審議会	香川県 （環境森林部環境政策課）	令和4年7月15日～ 令和6年7月14日（2年間）	土手美恵 （理事）
香川県環境審議会 自然環境部会	香川県 （環境森林部環境政策課）	令和4年7月15日～ 令和6年7月14日（2年間）	土手美恵 （理事）
香川県土地利用 審査会	香川県 （環境森林部環境政策課）	令和4年11月8日～ 令和7年11月7日（3年間）	土手美恵 （理事）
香川県環境影響評価 技術審査会	香川県 （環境森林部環境政策課）	令和5年4月 22 日～ 令和7年4月 21 日（2年間）	土手美恵 （理事）

委員会名	委任者	委任期間	委員氏名
高松市地球温暖化対策実施計画推進協議会	高松市 （環境総務課）	令和5年10月13日～ 令和7年10月12日（2年間）	山本サヨ子 （会員）
かがわ森林・山村多面的機能発揮対策協議会	かがわ森林・山村多面的機能発揮対策協議会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年間）	土手美恵 （理事）

（10）表彰・受賞・感謝状など：

実績はありません